

地理歴史科	科目名	SS地理情報	単位数	2	教材名	・新詳地理資料 COMPLETE ・高等学校新地理総合 他
目標	<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、発展的なGIS（地理情報システム）などを用いて情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を習得するとともに、地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を通して、社会課題解決のために応用したり議論する力を養い、持続可能なWell-beingの視点に立った地理的な課題発見・解決法の考察、主体的に防災・減災に関わる姿勢や自覚を育む。</p>					
設定の理由	<p>現代世界では情報化の進展とともに、G空間情報（地理空間情報）の重要性が高まってきた。地図や衛星測位等から得られる情報を適切に把握することは、急変する社会を理解する上で特に必要なことである。また、持続可能な開発に関連してWell-beingの視点が重要になりつつあり、SDGsとともにSWGsの視点を盛り込んだ学びも求められている。そして東日本大震災からの復興を進める本県においては、防災や減災に加えて、福島復興を当事者の学びとし、そこから得られた知見を国内外に発信する必要もある。</p> <p>本校SSH事業目的にてらし、GISを利活用したG空間情報の向上や世界との関わりの考察、防災・減災の理解と実践、福島復興の学びを進め、SS探究Ⅰでの課題研究の質を向上させることやⅡ期のSS情報で開発・実践した成果も踏まえ教科融合的な視点からSS探究Ⅰ及びⅡ並びに情報Ⅰと関わらせて総合知を育むため。[地理総合の代替科目として実施]</p>					
他科目との関係	<p>本校が第1年次で取り組む「SS探究Ⅰ」における『地域共創探究』と密接に関わり、第2・3年次で取り組む「SS探究Ⅱ」における『国際課題探究』（SS型は理数探究）にもつながるため、探究活動の進捗と連動させながら指導する。また、G空間情報の単元では、情報科と連携した学びを進める。[SS探究Ⅰ及びⅡは、総合的な探究の時間の代替科目として実施]</p>					
月	単元名	学習活動			配当時間	
4月 5月	㉔情報科と連携したG空間情報	<ul style="list-style-type: none"> ・情報Ⅰと連動させながら、GISの仕組みを学び、e-Stat等のデータを収集したり3Dマップの作成を行ったり、SS探究Ⅰの活動の基盤となる知識・技能を得る。 			8	
6月 7月	㉕「福島学」を踏まえた防災・減災・復興のあり方 ※開沼 博氏の講演会 6/27	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境（地形・気候）の学習を進め、そのことをふまえた福島県の自然災害の現状を学ぶ。同時に、防災・減災・復興のあり方について主体的に考察する。 			16	
8月	㉖SS探究Ⅰと連携したフィールドワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題解決に向けて、フィールドワークを行い、㉔で身に付けた力を活用して、地図化してまとめる。 			10	
9月 10月	㉗Well-beingの視点による地理的な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な開発に関連してWell-beingの視点が重要になりつつあり、SDGsとともにSWGsの視点を盛り込んだ上で地域から地球規模まで、現代の諸課題を考察する。 			16	
11月 12月 1月	㉘SS探究Ⅰと連携したポスターセッション ※郡山市役所と連携した取組	<ul style="list-style-type: none"> ・2/7に行われる本校の「SSH探究活動発表会・成果報告会」内の『地域共創探究』の発表に向けて、これまでの学びをふまえながらまとめ、ポスター発表を行う。 			12	
2月 3月	㉙「福島学」を踏まえた学びの応用	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学んできたことを「福島学」の視点から整理しなおし、そこから得られた知見を国内外に発信するための資料を作成する。 			8	
合計					70	

※「地理総合」の「内容A」は上記の㉔㉖、「内容B」は上記㉗の㉔、「内容C」は上記㉕㉖㉘㉙に相当。